

30秒に収めるための、 社内向けショート動画構成テンプレート

制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

30秒は、話す量より伝える順番で整える。

この資料で作る5つ

- 一つの疑問に答える企画
- 30秒の構成枠
- 画面・音声・字幕をそろえた台本
- 尺が長いときの削り方
- 公開後に更新するテンプレート

まず一本を試作し、無理なく理解できる長さへ調整します。

長くなる原因を、台本の段階で見つける。

起こりやすい問題

- 複数の視聴者に一度に話している
- 会社紹介から始めて本題が遅れる
- 同じ説明を音声と字幕で繰り返す
- 最後に複数の行動を求めている

情報を速く読む前に、**一本の役割を絞りましょう。**

一つの疑問に、一つの答えを置く。

企画の土台

誰に	視聴者が置かれている具体的な場面
疑問	その場面で知りたいこと
答え	自社が事実として示せること
行動	見た後にしてほしいこと

目的・確認者・公開日も企画書に残し、構成の判断基準にします。

30秒の構成枠を、仮置きする。

配分の一例

0～3秒	視聴者の疑問を示す
3～10秒	答えを先に伝える
10～24秒	具体例や手順を見せる
24～30秒	要点と次の行動を示す

これは制作の目安です。話す速さ、必要な説明、公開先に合わせて調整します。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

台本は、画面・音声・字幕を並べて書く。

台本に必要な列

時刻	その場面の 開始と終了
画面	撮るもの と 見せる順序
音声	口に出して 話す言葉
字幕	画面で補う 要点や注記
素材	対応する カット番号 と 保存先

先に声に出して読み、映像の間も含めて**時間を測ります**。

疑問に答える型は、**答えを先に出す。**

Q&A型の例

疑問

よく寄せられる質問を一つ示す

答え

結論を短く伝える

補足

理由や判断条件を具体的に示す

行動

詳細を確認する場所へ案内する

質問は実際の相談や現場の声から選び、未確認の効果を答えにしません。

手順を伝える型は、動作を先に整理する。

手順型の例

完成

見終わると何が分かるかを示す

準備

必要なものと前提条件を示す

実演

重要な動作だけを順に見せる

確認

できた状態と注意点を示す

説明が多い場合は別の動画へ分け、必要な注意点を省かないようにします。

長い台本は、重複から削る。

見直す順序

前置きや挨拶を**短くする**

同じ意味の説明を**一つにする**

本題に不要な会社紹介を**別へ移す**

映像で伝わる部分の説明を**減らす**

別の疑問への答えを**次の動画へ分ける**

事実の条件や必要な注記は、尺のために削らず構成を見直します。

短くしても、読める・聞ける状態を守る。

試作で確認すること

字幕を読み切る時間がある

一画面のメッセージが一つに絞られている

音声之急ぎすぎず聞き取れる

画面の動きと説明が対応している

最後の行動とリンク先が一致している

音あり・音なしの両方で見直し、理解しにくい箇所を記録します。

テンプレートには、変えてよい範囲を書く。

固定するもの

台本の列、確認項目、ブランド指定、素材の命名

毎回変えるもの

視聴者の疑問、答え、具体例、見せる素材、行動の案内

企画判断は社内に残し、初期設計や難しい編集は必要に応じて外部へ相談します。

構成の改善を、感想だけで終わらせない。

残しておく**指標**

一本あたりの編集時間

素材を**探した時間**

修正の往復回数

テンプレートの**利用状況**

目的行動につながる反応

事実・仮説・次の変更・判断日を記録し、次の一本では**一つの変更**を試します。

月4本で、二つの構成型を試す。

モデルケース

- 企画と撮影は社内で準備
- 初期テンプレートは外部伴走で整備
- Q&A型と手順型を使って制作
- 8週間で反応と制作負荷を確認

成果保証ではなく検証のモデルです。使いやすさと視聴者の反応から、残す型を決めます。

90日で、自社の構成集へ育てる。

0～30日

視聴者の疑問と4本分の台本を作る

31～60日

試作・公開・レビューで基準をそろえる

61～90日

工数と反応を見て構成枠を更新する

期間は目安です。使わない型を増やさず、次に再現できる例を残します。

次の一本を、四つの場面で書いてみる。

今日決める5つ

- 最初の視聴者と一つの疑問
- 冒頭で示す言葉
- 具体例として撮る素材
- 最後に案内する行動
- 台本を読み上げて確認する日

ショート動画屋さんの内製化支援では、自社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する